

岩手大学教職大学院 NEWS Letter

岩手大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻

問合先: 岩手大学教育学部

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 TEL.019-621-6504 FAX.019-621-6600
E-mail edujim@iwate-u.ac.jp URL <https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/>



「教育実践研究の成果」を更新して公開中
教職大学院ホームページにてご覧いただけます!

岩手大学大学院教育学研究科研究年報
オンラインISSN 2432-924X

●中村偉繩・佐々木全・佐藤信 (2025) 特別支援学校の作業学習における補助具の開発にかかる教員の内的プロセス

●細川純平・田代高章・須川和紀・鈴木久米男 (2025) 高等学校における生徒の社会参画を促す教員の実践力の形成—総合的な探究の時間における教員・学校組織・地域との連携—

他13編掲載、教育学研究科研究年報 第9巻

教育学研究科教員 メッセージ



特任教授
奥田 昌夫

生成AIの登場により、ここ数年で情報技術は急速に進展し、社会全体の変化が進行しています。次期学習指導要領では、情報活用能力の育成強化や、デジタル教科書を正式な教科書とすることの検討が進められています。現在、どの学校でもGIGA端末を利用した授業が日常の光景となっています。一方、学校が抱える問題が多種多様にわたることにより、教員の長時間労働が深刻な課題となっており、情報技術を活用した学校DXによる働き方改革が急務とされています。このような教育現場で活躍できる人材を育成するため、本学教職大学院では「DX of Education [DX.E] 教育実践学×情報学分野高度専門人材養成プログラム」を、令和8年度からスタートします。教育実践学および情報学を融合させた教育プログラムを、行政・民間企業と共に開発・実践し、「高度な教育実践力と数理・データサイエンスの素養を兼ね備えた教員の育成」を行います。変化の激しいこれからの中を生きる力を、児童生徒に育成できる教員の養成・学修を進めています。

M2 現職院生 伊東 しのぶ

8月に宮古教育事務所管内で1泊2日のマネジメント力開発実習を実施し、行政・学校・地域NPOの連携による「復興教育」の具体的な取組を学びました。10月には盛岡教育事務所にて教育諸課題の解決に向けた提案・協議を行い、概念化した学びを具体策へ展開する力を養いました。この学びを来年度からの教育現場に生かしていきます。

M2学校マネジメント力開発実習では、教育委員会や教育事務所において、事務局業務や研修運営業務など、学校経営や教育行政にかかる実際的な業務を実習しています。

M2 学卒院生 水梨 弥夕

8月の教職大学院実習で陸前高田市教育委員会を訪問しました。教育長のお話から、子どもに寄り添う教育や児童生徒・同僚・保護者・地域社会という4つの人間関係を大切にすることの重要性を学び、地域資源を活用した授業の意義を改めて感じました。また、震災後の復興教育や教訓継承の意義も理解し、現地で学ぶ価値を実感しました。これらの学びを今後の教育実践に生かしていきたいと考えています。

「子ども支援力開発実習」での学びと手応え

M2 現職院生 藤澤 俊介

M1では附属小・中学校で、M2では所属校において、子ども支援力開発実習を行いました。M1では心理授業を通して感情に対する対処行動を学び、M2では子どもの「課題解決」を実践的に行なながら、コンサルテーションについて理解を深めました。理論と実践の往還を通して、適切な支援の在り方を学び、学校現場においても役立つ学修ができたという手応えを感じています。



M1 学卒院生 千葉 暖斗

配属校での実習を通して、児童生徒一人一人が生き生きと活動できる学級経営・授業づくりには、普段からの観察ややり取りによる実態把握と、ヒト・モノ・コトという三つの観点から見た支援の構想が大切であることを学びました。子どものよさを最大限に生かすため、自分には何ができるのかを考え、実行できる力量を今後も高めていきたいと考えています。



「ニュースレター」の最新号とバックナンバーは、こちらから
<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/>

「岩手大学大学院教育学研究科研究年報」は、こちらから
<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/shoukai-2/seika>

教職大学院の日々

M2 学卒院生 高橋 舞

M2では主に実習のリフレクションとゼミを実施しています。リフレクションでは授業実践や授業参観から学級の実態に合わせた学習指導と生徒指導を検討し、ゼミでは自身の研究や他のゼミ生の研究について議論しています。M1で学んだ理論を実践的に落とし込むことを意識しながら日々学んでいます。

M1 現職院生 菊池 雄一郎

教職大学院では、「理論と実践の融合」を重視しており、学校マネジメント、教育史、心理学、教育行政、専門教科など、教育にかかる多様な学びを実践へつなげ、日々充実した時間を過ごしています。また、異なる校種や立場の仲間と協働し、成果物の作成や教育に関する議論を重ねることで、視野を広げ、深めることができます。

「教育実践・学校安全学研究開発センター」は、こちらから
<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/huzoku/jsw/>